

平成27年度 うさみの園 ショートステイ

事業報告書

1. 事業の運営概況

- ・ 処遇やサービス面において、利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、利用者の心身の状況に配慮し可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、ご利用前後の生活が連続したものになるよう配慮した。ユニット内で利用者が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営むことができるよう支援に努めた。
- ・ 平成27年4月に相談補助を採用し人員を強化したことによって、月末月初の請求業務が忙しい時期に面接の対応ができるようになった。また、相談員外出中の問い合わせの対応や緊急依頼の対応等をスムーズに行うことができ、前年度を超える利用稼働率を残すことが出来た。しかし、年度後半になり平成26年11月に開設された特別養護老人ホームの20床の短期入所事業所が本格的に稼働し始め、徐々に利用依頼の減少が出始めた。

2. 事業計画の実施状況

(1) 業務の改善

① レクリエーションの充実

これまで開催されたサービス担当者会議において、「ショートステイ利用時における利用者の日中の過ごされ方に対する不満」が多く挙げられた経緯から、レクリエーションの充実を図り、利用者の利用満足度の向上に努めた。

② 会議・委員会

管理運営会議をはじめ、各種委員会の会議に積極的に参加するとともに、委員会で取り上げられた課題・改善策等をユニット運営に反映させた。

③ 給食業務

お楽しみランチ等を提供し、日常の食事に変化を持たせると同時に、個々の利用者の食事形態を把握・提供することで、安全に適切な摂取量が保てるよう努めた。

④ 個別介護支援

入所サービス提供計画に基づいた、短期入所生活介護計画書を作成し、計画書に沿った利用者単位のサービスの提供に努め、定期的なモニタリング・アセスメントを行いサービスの向上に努めた。

(2) 環境整備

- ① インフルエンザやノロウイルス等の冬の感染症に利用者・職員とも感染しないよう、日頃から施設内感染を防ぐことに重点をおき、全職員がインフルエンザをはじめ感染症予防のための研修や衛生管理を徹底し、特に職員自身が感染しないよう気をつけた。また、職員本人や職員家族が感染した場合の医療機関受診の優先や完治するまでの家庭内療養等の徹底に努めた。

- ② 事業所と特養による、大幅な人事交流を行いマンネリ化しつつある体制を一新し、サービスの向上を図った。

(3) 職員の資質向上

① 内部研修

年間計画された毎月1回の内部研修会に積極的に参加した。

② 外部研修

静岡県社会福祉協議会等、外部団体主催の研修に参加した。

③ 自己研鑽

研修会に参加するとともに、自己による資格取得に向けた学習、自己の資質向上のため関連する知識・技術の習得に努めた。

(4) 防災対策

① 施設内訓練・研修

大規模地震・火災その他の災害から利用者及び職員等の生命・身体の安全と保護を優先するとともに施設の保全を図るため、防火管理者の計画する訓練に参加し、有事の際の行動の基本体験実習を行った。

② 施設外訓練・研修

関連機関の研修会・訓練に参加、あるいは報告を受けて多様化する防災対策、災害時の対応、災害後の対策を身近に感じ考えることを学んだ。